

# 令和2年度 小林市立南小学校 学校関係者評価書

NO. 4

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 — かしこく やさしく たくましく —
--------------	---

## 〈食育〉 ○ よりよい食習慣を身に付け、食を豊かにする子どもの育成

評価項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
<b>食育</b>	1 家庭、地域と連携した食に関する指導の充実	○給食において、郷土料理の献立に加え、牛、鳥、米、マンゴーなどの地産地消の食材提供があり、食に関する意識の高まりが見られた。	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理はとても大切である。</li> <li>・こぼやし食育教育は素晴らしい活動である。</li> <li>・給食センターで地元の食材をなるべく使うよう努力していることはとても良い。</li> </ul>
	2 弁当の日、調理体験活動の推進と心の教育の充実	○コロナ感染対策のため調理実習は実施できなかったが、長期休業中に自宅での調理体験を呼びかけた。 ○弁当の日は春の遠足では実施できなかったが、お別れ遠足で実施することができた。	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理体験は増やしてほしい。</li> <li>・地域のこども食堂の開設があった場合は、子どもたちに案内してほしい。</li> <li>・具体的にどれくらいの子どもの長期休業中に調理体験をいっているのか。見届けも必要ではないか。</li> </ul>
	3 一人一人に応じた給食指導と食事マナーの徹底	○残菜率は少なくなってきた。 ※残菜率4～1月平均1.6% ○コロナ感染防止のため、各学級で無言で静かに給食時間を過ごせるようになってきた。	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残菜が少なくて素晴らしい。</li> <li>・食事のマナー（食べている時の姿勢、食器を持ち方等）は学校ではできているのか知りたい。家ではマナーがまったくできていないので指導はしているが、なかなか直らない。</li> <li>・楽しい給食が無言で静かに食べている様子はちょっとさみしい。</li> </ul>
	4 食を通したふるさと教育の推進	○給食に関わる仕事について考えさせる機会をもつことによって、給食にはいろいろな方々が関わっていることに気付かせることができた。	3	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔のように学校内に給食室がなくなったが、給食センターの調理の様子をテレビで見たい。</li> <li>・給食に携わる方々へのメッセージ等を送ることは大変よい取組である。</li> </ul>

次年度の方向性についての校長所見	<p>1 本年度の取組について 本年度は、コロナ感染対策のため、多くの行事や活動が中止、縮小されたが、感染対策を講じながら実施方法を工夫し、保護者や地域の方々の理解・協力をいただき、可能な限り実施の方向で取り組み、「知」「徳」「体」「食」において成果を残すことができた。</p> <p>2 次年度への改善に向けて 次年度も前半は、コロナ感染対策で活動の制限を強いられると思われるが、本年度を踏まえ、実施方法を改善しながら、教育効果を上げる取組を進めていきたい。特にGIGAスクールにおけるICT機器を有効活用した取組を積極的に進めていきたい。</p>
------------------	---